

小学校 5・6年



『クローディアの秘密』
毎日が退屈で、長女は損ばりが、嫌気がさした11歳のクローディアは、弟を誘って家出をし、メトロポリタン美術館の中にかくれ住んだ。今と違った新しい自分になりたいという願いを胸に、あるなぞ解きに夢になる。



『シャーロットのおくりもの』
子ブタのウィルバーは、小さく生まれて殺されそうになったところを農場の娘ファーンに助けられたが、次は、ハムにされてしまうことに。今度は、友達クモのシャーロットが奇跡を起こして救ってくれる。命と友情の物語。



『チョコレート工場の秘密』
とても貧乏な家の男子チャーリーは、幸運にも板チョコに入ったくじを引き当て、あこがれのチョコレート工場を見学できることに。招かれた5人の子もたちが工場の中で自にするものとは…。辛口ユーモアあふれる物語。



『トムは真夜中の庭で』
夏休みの間、おばさんの家に預けられたトムは、真夜中に古時計が13回鳴るのを聞いた。すると、家の裏口に昼間はなかった庭園があらわれ、トムは昔風の服を着たハティという少女に出会う。トムとハティは友だちになって…。



『二年間の休暇』
夏の休暇にヨットで船旅を楽しむはずだった寄宿学校の少年たちは、大人を乗せずに船出してしまい、無人島に流される。船はこわれ、助けはのぞめない。少年たちは無人島で自分なりに生活しようとなり、困難に立ち向かう。



『ふたりのロツテ』
夏休みの林間学校で出会ったロツテとルーイゼ。ふたりは髪型以外そっくりだった。自分たちがふたごの姉妹であることを知ったふたりは、別れた両親を仲直りさせようと考え、入れかわり計画する。



『魔法使いのチョコレート・ケーキ』
魔法はへただがおいしいチョコレート・ケーキを作る魔法使いが、子どもたちを招待してパーティーを開こうとしても、だれも来ない。そこでりんごの木を相手にお茶会を開くと…。他7編の物語と詩2編を収録した短編集。



『モモ』
ある日モモの住む町に灰色の男たちがやってきて、人々の時間を盗むようになる。心を感わされた人々は、家族や友達との時間そっこので、休みなく働くようになってしまう。モモは盗まれた時間を取り戻そうと灰色の男たちと立ち向かう。



『ライオンと魔女 (ナルニア国ものがたり1)』
戦争をさけるために田舎へ預けられた4人の兄妹は、古いタンスのむこうの不思議な国ナルニアに入り込んでしまう。恐ろしい白い魔女に支配された国を取り戻すため、真の王アスランとともに戦う4人の冒険物語。



『絵で読む広島原爆』
人類最初の原子爆弾が投下された広島を、生き残った人々の証言をもとに描いた絵本。原爆がなぜ作られ、なぜ広島に投下されたかが、わかりやすく解説されている。被爆後50年間の核に関するできごとをまとめている。



『アラスカたんけん記』
学生時代にアラスカに魅了された著者は、カメラマンとなり再びアラスカへ。カムで氷河の崩壊に遭遇したり、カリブーの群れを追いかけ雪道をひたすら歩いたり、大自然の中で奮闘した体験を臨場感あふれる写真とともに記す。



『カワセミ 青い鳥見つけた』
「青い宝石」といわれる美しい野鳥、カワセミ。日本中に生息するが、なかなか見ることができないその姿を数多くの写真で紹介。カワセミに魅せられて写真家となった著者による、水中での狩りの瞬間をとらえた写真がすばらしい。



『わきだせ!いのちの水 日本伝統の上総掘り井戸をアフリカに』
水くみに苦労しているアフリカの人々の役に立ちたい。交通事故にあったことをきっかけに、日本の伝統技術「上総掘り」を応用し、現地の人々を指導していついかに井戸を掘る大野さん。開発途上国で井戸を掘り続ける大野さんの活動を紹介します。



『わらしべ長者 日本民話選』
びんぼうな若者が手に入れた一本のわらが、いろいろなものや交換されていくうち、ついには大金持ちになるお話「わらしべ長者」をはじめ、劇作家である著者が、民話の語り口調を生かして再話した民話集。「かにかむかし」など22話を収録。



●小学校5・6年
『クマのプーさん』…A.A.ミルン作 石井桃子訳 E.H.シェパード絵 岩波書店★
『のっぽのサラ』…パトリシア・マクラクラン作 金原瑞人訳 中村悦子絵 徳間書店★
『バッテリー』…あさのあつこ作 佐藤真紀子絵 教育画劇★
『ムーミン谷の彗星(ムーミン全集1)』…トベ・ヤンソン著 下村隆一訳 講談社★
『ローワンと魔法の地図』…エミリー・ロッグ作 さくまゆみこ訳 佐竹美保絵 あすなろ書房★
『床下の小人たち』…メアリー・ノートン作 林啓吉訳 岩波書店★
『大きな森の小さな家』…ローラインガルス・ワイルダー作 恩地三保子訳 ガース・ウィリアムズ画 福音館書店★
『霧のむこうのふしぎな町』…柏葉幸子作 杉田比呂美絵 講談社★
『命のバトンタッチ』…今西乃子著 若崎書店★
『ウィロビー・チェースのオオカミ』…ジョン・エイキン作 こだまともこ訳 パット・マリアウト画 富山房★

保護者の皆様へ

100冊

みんなで取り組む 千葉の教育

友だちでできるかな?

図書館司書が選んだ (小学生向け)
子どもに読んでほしい本100選



～「子どもと本をつなぐ」・「子どもの本でつながる」読書活動～
読書習慣を身に付けるためには、子どもが本の楽しさや魅力を感じる機会が必要です。本に触れるきっかけがあり、手を伸ばすと好きな本や調べたい本がある。「子どもと本をつなぐ」取組や読書環境が大好きな子どもを育てます。
また、社会には、読書の大切さを知り、子どもの健やかな成長を願う人が多くいます。その人々もっている知識・情報・技能・思い等は多様です。そうした大人同士や大人と子どもが読書活動でつながる、すなわち、「子どもの本でつながる」ことで生まれる効果は計り知れません。
ここに紹介する本は、千葉県内の図書館司書が、子どもたちやご家族の方にぜひおすすめしたい本として選んだものです。ご家庭で過ごすひとときにお子さんと一緒に本を読んでみませんか?
お子さんとの絆を深める大切な時間となり、保護者の皆様も読書の楽しさを改めて発見できるのではないのでしょうか。

小学校 1・2年

『おいしいのぼうけん』
ミニカーのとりにでけんかして、保育園の押入れに入れられたさとしとあきら。暗い押入れに怖いねずみばあさんが現れ、二人は手をつないで夜の町を逃げ回る。次々とかわる場面と二人の大冒険が読み応えたっぷりの絵本。



『なぞなぞのすきな女の子』
なぞなぞの大好きの女の子が、ある日なぞなぞ遊びの相手を探して森へ出かけると、お腹をすかせたオオカミにぱつたり出会う。女の子はオオカミになぞなぞを出す、オオカミはなかなか当てられない。賢い女の子とオオカミのかけあいが楽しい物語。



『はじめてのキャンプ』
小さい女の子なほちゃんは、大きい子たちと一緒に初めてのキャンプに連れて行ってもらう。「重い荷物を持つ」「絶対泣かない!」などの約束を守ろうと、背伸びをして精一杯頑張るなほちゃん。キャンプの楽しみも教えてくれる本。



『番ねずみのヤカちゃん』
ドさん夫婦の家で4匹の子ねずみを育てるお母さん。人に気づかれずに静かに暮らすための知恵を歌にして教えるが、末の子ねずみヤカちゃんは、とにかく声が大きくて、ハラハラさせられる。思わず声を出して読みたくなる一冊。



『みどりいろのたね』
えんどう豆のたねといつしよに、みどり色の土も埋めてしまったまあちゃん。土の中でたねたちとあめ玉がけんかをはじめて…。たねたちVSメロンあめ土の中での攻防戦には、思わず笑ってしまう。



『おおきくなりすぎたくま』
ジョニーは森でこぐまを見つけて家に連れて帰るが、こぐまは大きくなり畑や納屋を荒らすようになった。そこでジョニーはくまを森に帰そうとする。ジョニーとくまの交流を描いた心温まる絵本。



『ちいさいおうち』
ちいさいおうちは、自然に恵まれた田舎の静かな丘で幸せな時を過ごしていたが、次第に周りは大都会になっていく。考えがれた構図と美しい色調で、ちいさいおうちの気持ちとともに時の流れが感じられる絵本。



『ひとまねござるときいろいぼうし』
ひとまねござるときいろいぼうしは、黄色い帽子のおじさんに連れられ、アフリカから船で町にやって来た。ところが、持ち前の好奇心から次々と騒ぎを引き起こす。いつも明るく元気いづづいぼうしの姿が子どもたちの共感を呼ぶ。



「家読(うちどく)」のススメ

「家庭ふれあい読書」を意味する「家読(うちどく)」は、「家族みんなで読書することで家族のコミュニケーションを深める」ことを目的とした読書運動です。「子どもと本をつなぐ・子どもの本でつながる」そんな素敵なおとときを過ごしてみませんか。各ご家庭に合った方法で、本に親しみましょう。

- 家族で同じ本を読み、感想を話す
- 家族で絵本を読みながら楽しい時間を過ごす
- 大人が子どもに本を読み聞かせる
- 家族で読書の日や読書タイムを設ける
- 子どもが大人や家族に本を読む
- 大人が子どもに読書の思い出を語る など

● 対象学年は目安です。シリーズや続編のある作品には、出版社に★印がついています。
● ここで紹介する本は、千葉県内の図書館司書が所属する、千葉県公共図書館協会が選んだものです。
● このリーフレットは千葉県教育委員会のホームページからダウンロードできます。非営利目的に限り、複製・配付ができます。

発行 / 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課
〒260-8662 千葉市中央区市場町1番1号 TEL: 043-223-4072 FAX: 043-222-3565
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shougaku/dokusho/index.html>



小学校 1・2年

『なぞなぞのみせ』

50問のなぞなぞが楽しめる絵本。女の子がおばあちゃんと買い物をしている文房具屋やケーキ屋などの店内の絵を手がかりに、なぞなぞを解くことができる。丁寧に描かれた絵は探し絵としても楽しめ、文章では表されていない二人の買い物の様子も感じられる。

石津ちひろ なぞなぞ
なぞなぞみこ 絵
偕成社

『たんぽぽ』

かわいらしく、きれいなだけではないたんぽぽの生態がよくわかる。根はどうなっているのだろう。花にはどんな秘密があるのだろう。ふだん何気なく見ているたんぽぽの知恵やたくましさを感じ、新たな発見がある。あなたは「たんぽぽをどうして愛していますか。」

平山和子 文・絵
北村四郎 監修
福音館書店

『王さまと九人のきょうだい』

悪い王さまの出ず難題を、九人の兄弟がそれぞれの長所をいかして乗り切り、王さまをこらしめる物語。9回の繰り返し子どもに喜ばれる中国の民話絵本。

赤羽末吉 絵
君島久子 訳
岩波書店

『子どもに語る日本の昔話』

その昔、田舎裏を囲んで語られたような味わいのある昔話。地域特有の語り伝え方や方言も入り、一日の終わりや、ほっとした時間に身近な人に読み聞かせてもらいたい作品。親子で共有できるお話を声にのせて伝えたい。

稲田和子 再話
岡井悦子 再話
多田ヒロシカント
こくま社 (全3巻)

『すずめのくつした』

靴下工場の息子アンガスとすずめのブルースは犬の仲良し。ある寒い冬の日、震えるブルースのために、アンガスは父さんの工場ですずめの足に合わせてちっちゃな靴下を編む。靴下は大評判になり、アンガスはブルースの友達にも次々と靴下を編んでゆく。

ジョージ・セルデン 文
ピーター・リップマン 絵
光吉郁子 訳 大日本図書

『こいぬがうまれるよ』

「いいことおしえてあげようか?」こいぬをもらうことになった「わたし」のわくわくした思いに引き込まれてお話が始まる。こいぬが誕生する時の臨場感や、母さん犬との深い絆、日々成長を小さな女の子の言葉で綴った写真絵本。

ジョン・ナール 文
ジェローム・ウェクスラー 写真
つばいいくみ 訳 福音館書店

『ピーナッツ なんきんまめらっかせい』

まめがなぜ地中?地中に実をつける落花生の不思議や疑問が解ける楽しい科学絵本。実物のように描かれた絵が落花生の成長を明らかにしてくれる。落花生の成長が繰り返して楽しめるしかけや、好奇心をくすぐる表現が魅力的。

こうやすずむ 文
中島睦子 絵 福音館書店

『ロバのシルベスターとまほうの小石』

ロバのシルベスターは望みがかなう魔法の小石を見つけるが、ライオンに会い、とっさに自分が岩になるように願ってしまう。父さんと母さんは必死に探し回る。思いがけない場所でシルベスターはロバに戻り、親子は再会する。驚きと喜びにあふれた物語。

ウィリアム・スタイヴ 文
せたいじ 訳 評論社

ほかにもこんな本がおすすめです

- 小学校1・2年
- 『アポカド・ベイビー』…ジョン・バーニング作 青山南 訳 ほるぷ出版
- 『きいろいばけつ』…もりやまみやこ 作 つちだよしはる 絵 あかね書房
- 『こぶたのピクルス』…小風さち文 夏目ちさ 絵 福音館書店
- 『ジोजオのパンやさん』…岸田裕子 作 中谷千代子 絵 あかね書房
- 『しばいにかんぱい!』…宮川ひろ 作 小泉のみ子 絵 童心社
- 『しようたとなつう』…星川ひろ子 星川治雄 写真文 小泉武夫 原案監修 ポプラ社
- 『たんだのたんけん』…中川李枝子 作 山崎百合子 絵 Gakken
- 『どろんこぶた』…アーノルド・ローベル 作 岸田裕子 訳 文化出版局
- 『へっちゃらトーマス』…パット・ハッチンス 文・絵 小宮由 大日本図書

小学校 3・4年

『がんばれヘンリーくん』

ヘンリーくんは小学3年生の男の子。ある日、ひろつたがりがりのやせ犬アバラーといっしょに、次々にゆかいな事件をまきおこす。子どもたちの日常を生きて描いた楽しいお話。

ベリイ・クリアリー 作
松岡享子 訳
ルイス・ダーリング 絵
Gakken

『百まいのドレス』

ワンダは貧しく、いつも同じ服を着ている女の子。ドレスを百枚持っていると言ったためからかわれる。ワンダが遠くに引っ越して行った後、教室には百枚のドレスの美しい絵が飾られていた。マデラインはからかったことを後悔して…。

エレナー・エスティス 作
ルイス・ロドキン 絵
石井桃子 訳
岩波書店

『エンザロ村のかまど』

アフリカ・ケニアのエンザロ村には、どの家にも日本人が伝えたかまどがある。遠くはなれたアフリカの村になぜ、かまどがあるのだろうか?日本とケニアの不思議なつながりを、村の人たちの住まいや食事、暮らしぶりを交え伝える絵本。

さくまゆみこ 文
沢田としき 絵
福音館書店

『ろくべえまってるよ』

…灰谷健次郎 作 長新太 絵 文研出版

『くまの子うーフ』

…神沢利子 作 井上洋介 絵 ポプラ社

『1つぷのおこめ』

…デミ 作 さくまゆみこ 絵 光村教育図書

『ことばあそびうた』

…谷川俊太郎 詩 瀬川康男 絵 福音館書店

- 小学校3・4年
- 『100万回生きたねこ』…佐野洋子 作・絵 講談社
- 『あたまをつかった小さなおばあさん』…ホープ・ニューウェル 作 松岡享子 訳 山崎百合子 画 福音館書店
- 『ちびドラゴンのおくりもの』…イリーナ・コルジュノワ 作 香西進一 訳 伊東寛 絵 国土社
- 『黒ネコジェニーのおはなし』…エスター・アペリル 作・絵 松岡享子 訳 張替恵子 訳 福音館書店

『セロひきのゴーシュ』

町の楽団のセロひきのゴーシュは音楽が大好き。ある日、王子さま誕生のお祝い、国中の人たちが集まり、猫やかっこうなどが訪ねてくる。動物たちとの奇妙な練習をするうちにみるみる上達して…。作品が持つ独特の世界観を表現した挿絵も魅力。

宮沢賢治 作
茂田井武 絵
福音館書店

『くまのパディントン』

南米のペルーからロンドンにやってきたくまのパディントンは、ブラウン一家と暮らし始める。好奇心旺盛で大真らんまん。行動すると必ず騒動を起こすパディントンは、一家のかけがえのない一員になっていく。

マイケル・ポンド 作
ベギー・フォートナム 画
松岡享子 訳
福音館書店

『ポリーとはらぺこオオカミ』

おなかをすかせたオオカミがポリーを食ってやろうと、「おずきん」や「三びきの子ブタ」などをまねして奮闘するが、ポリーの方が一枚うわてで、いつもやりこめられる。まぬけなオオカミと賢いポリーのゆかいなお話。

キャサリン・ストー 作
掛川藤子 訳
マージョリー＝アン・ワッツ 絵
岩波書店

『カミツキガメはわらいやつ?』

日本にはいなかったカミツキガメが、印度沼やその周りで増えている。かみつくなどの被害を減らそうと捕まえられるが、外国から人間によってつれてこられたカミツキガメは、わるものなのか。カミツキガメの暮らしを観察した写真絵本。

松沢陽士 写真・文
フレール・ベル 画

●小学校3・4年

- 『ながいながいペンギンの話』…いぬいとみこ 作 山田三郎 絵 理論社
- 『なんでもた大会社』…ニコラド・イルシング 作 末松冰海子 訳 三原紫野 絵 日本標準
- 『びりっかすの神さま』…岡田淳 作・絵 偕成社
- 『小さなバイキングピッケ』…ルーネル・ヨハンソン 作 エーヴェット・カールソン 絵 石渡利康 訳 評論社
- 『イチからつくるカレーライス』…関野吉晴 編 中川洋典 絵 農山漁村文化協会
- 『車このうは空のう』…あまきさきこ 作 北田卓史 絵 ポプラ社
- 『ちびっこカムのぼうけん』…神沢利子 作 山田三郎 絵 理論社
- 『チョコレート戦争』…大石真 作 北田卓史 絵 理論社
- 『菜の子先生がやってきた!』…富安陽子 作 YUJI 画 福音館書店

『ぼくは王さま』

王子さまはたまごやきが大好き。ある日、王子さま誕生のお祝い、国中の人たちが集まり、猫やかっこうなどが訪ねてくる。動物たちとの奇妙な練習をするうちにみるみる上達して…。作品が持つ独特の世界観を表現した挿絵も魅力。

寺村輝夫 作
和田誠 絵
理論社

『小さなスプーンおばさん』

ある朝、おばさんが目を覚ますと、ティースプーンくらいに小さくなっていて。スプーンおばさんは頭を動かさず、時には小さな体を利用してユーモラスに困難を乗り越えていく。

アルファ・ブリーク 著
大塚勇三 訳
ビョルン・ペルイ 絵
Gakken

『ものぐさトミー』

トミー・ナマケンボの家は電気じかけ。ただ立っているだけで、機械がなんでもやってくれる。ある日、嵐がやってきて電気が止まったらさあ大変!抱腹絶倒のお話。

ペーン・デュボア 文・絵
松岡享子 訳
岩波書店

『スーホの白い馬』

モンゴルの楽器「馬頭琴」の由来を伝える民話絵本。貧しい羊飼いの少年スーホの白馬が競馬で優勝するが、白馬は殿様にとりあげられてしまう。白馬はスーホのもとへ命からがら逃げ帰るが…。モンゴルの風景が横長の画面をいかして描かれて

大塚勇三 再話
赤羽末吉 画
福音館書店

●小学校3・4年

- 『子ブタシープピッグ』…ディック・キング＝スミス 作 木原悦子 訳 マアリー＝レイナー 絵 評論社
- 『風にのって来たメアリー・ポピンズ』…P.L.トラヴァース 作 林吉吉 訳 岩波書店
- 『しずくの首飾り』…ジョン・エイケン 作 猪熊葉子 訳 ヤン・ピアンコフスキー 絵 岩波書店
- 小学校5・6年
- 『くらぐミ団は名探偵』…リアン・プレス 作・絵 大社玲子 訳 岩波書店
- 『黒ねこサンゴロウ1』…竹下文子 作 鈴木まもる 絵 偕成社
- 『どうしてかわかる? 世界のなぞかけ昔話1』…ジョージ・ジャン 文 ビーター・シス 絵 福本友美子 訳 晶文社
- 『ドリトル先生アフリカゆき』…ロバート・マックロスキー 作・絵 井伏鱒二 訳 岩波書店

『大どろぼうホッツェンブロッツ』

おばあさんの大事なコーヒーひきを盗んだ大泥棒と、孫のカスパールと友人のゼッペルが追跡。魔法使いや妖精も登場し、少年たちが知恵を絞って大泥棒と渡り合う。テンポが速く、ユーモアたっぷりの冒険物語。

オットフリート・プロイスラー 作
中村浩三 訳
偕成社

『時計づくりのジョニー』

ジョニーは手先が器用で、ものをつくるのがじょうずな小さな男の子。ある日、「大時計をつくらう」と思い立つ。親や教師にバカにされ、同級生に邪魔されても、ジョニーは懸命に時計づくりに取り組む。

エドワード・アーディノーニ 作
阿部公子 訳
こくま社

『ゆかいなホーマーくん』

アメリカの小さな町に住むホーマーくん。ペットのスカンクと一緒に強盗を捕まえたり、機械が故障してたくさんさんのドーナツができてしまったり。思いがけない事件が次々と起こり、ワクワクドキドキ感満載の6編を収録。

ロバート・マックロスキー 作
石井桃子 訳
岩波書店

『イギリスとアイルランドの昔話』

日本でも有名な「三びきの子ブタ」「ジャックとマメの木」など、イギリスの昔話22編と、げけもの出る教会で仕立て物をしあげてほうびをもらう「元気な仕立て屋」など、アイルランドの昔話8編が入った昔話集。語りにも向いている。

石井桃子 編・訳
J.D.バトン 画 福音館書店

●小学校5・6年

- 『はなとみこ』…関野吉晴 編 中川洋典 絵 農山漁村文化協会
- 『車このうは空のう』…あまきさきこ 作 北田卓史 絵 ポプラ社
- 『ちびっこカムのぼうけん』…神沢利子 作 山田三郎 絵 理論社
- 『チョコレート戦争』…大石真 作 北田卓史 絵 理論社
- 『菜の子先生がやってきた!』…富安陽子 作 YUJI 画 福音館書店

『火曜日のごちそうはヒキガエル』

ミミズクにつかまってしまったヒキガエルのウォートン。自分が誕生日の日のごちそうだと知り、逃げ出す計画を立てるが…。心やさしいヒキガエルと、ひとりぼっちのミミズクとの心の交流を描く。

ラッセル・E・エリックソン 作
ローレンス・ディ・フィオリ 絵
佐藤涼子 訳
評論社

『長くつ下のピッピ』

ピッピは世界一力持ちな女の子。次から次に奇想天外なことを思いつき、すぐに行動してはひと騒動起こすが、その無邪気さや心の温かさが周りの人々に受け入れられる。ピッピの活躍を描いた三部作の一作目。

アストリッド・リンドグリーン 作
大塚勇三 訳 板井誠 絵
岩波書店

『版画のはらうた』

野原の小さな生き物たちの思いを詩にした本。版画の文字と挿絵は、絵と言葉が一体となりダイナミックな詩の世界を表現している。彼らの個性が光る、生きる喜びにあふれた様々な詩は、ぜひ声に出して楽しんでほしい。

くどうなおこ 詩
ほてはまたかし 画
童話屋

小学校 5・6年

『魔女の宅急便』

魔女のキキは、13歳になる年に親元を離れ、知らない町で独り暮らしを始める。ほうきで空を飛んで届け物をする宅急便屋となり、変わった依頼を受けながら町になじんでいく。キキと黒猫のジジの一年間を描いた物語。

角野栄子 作
林明子 画 福音館書店

『だれも知らない小さな国 (コロポックル物語1)』

小学3年生の頃、秘密の遊び場で見つけた小指くらい小さな小人。時が過ぎ、またそこを訪れたことで、僕は彼らと再会する。もしかしたらコロポックルがそばにいるかもしれない、そんな気がするようなファンタジー。

佐藤さとる 作
村上勉 絵 講談社

『二分間の冒険』

小学5年生の悟は、運動場のすみで黒猫のダレカに会い、異世界に連れて行かれる。そこは子どもだけが住み、電に謎かけと剣で戦わなければならない世界だった。元の世界に戻るため、悟はこの世界で一番たしかなものを探す。

岡田淳 作
太田大八 絵 偕成社

『冒険者たち ガンバと15ひきの仲間』

ドブネズミのガンバは島ネズミを苦しめるイタチのノロイ一族と戦うため、15匹の仲間と夢見が島に向かう。仲間同士助け合い、知恵と勇気をふりしぼって困難を一つ一つのりこえていく。

斎藤孝夫 作
数内正幸 画 岩波書店

『ルドルフとイッパイアツテナ』

ひよんなことから見知らぬまちに来てしまった猫のルドルフ。出会ったボス猫のイッパイアツテナは少し怖いけれど頼れる存在で、特技は人間の文字を読むことだった。ルドルフはノラ猫生活の知恵を学びながら、文字も学ぶことに。

斎藤洋 作
杉浦龍茂 絵 講談社